

平成31年度（2019年度）「学校評価」年間計画

長野県上伊那農業高等学校

学校教育目標	・生命に学ぶ実践的な学びをととして、自分の人生を自らデザインできる生徒を育成する。 ・地域の方々と協働して地域の課題に取り組む探究的な活動をととして、活力ある伊那谷をデザインすることにチャレンジできる生徒を育成する。
重点目標（中長期的目標） 今年度の目標	理念 『上農で、わたしと伊那谷をデザインする』 1. 生徒一人ひとりの人格を尊重して、いじめ・体罰のない安心・安全な学校づくりをめざす。 2. 育てたい生徒像を共有し、生徒一人ひとりに心をこめて教育にあたる。 3. 生命に学ぶ実践的な学びをすすめて、豊かな人間性とグローバルな視点を持った生徒を育成する。 4. 基礎学力の充実と専門性の基礎・基本の修得、生徒の多様な進路実現に努める。 5. 地域社会と連携する機会を創りだす。

評価領域	評価項目	評価の観点
学校運営	職員の意思統一	生徒一人ひとりに対して心を込めて教育にあたることができたか。
	研修	校内または校外の授業や部活動などで、生徒が主体的に活動する様子を参観しようと心掛けたか。
	安全管理の取組	3年以内に、3時間の救命講習を受講したことがあるか。
	組織運営	日々の活動や過去からの行事について、従前のままでよいのか検討したか。
	情報提供	ホームページや新聞・通信により、学校活動を外に向けて情報提供ができたか。
	保護者、地域住民等との連携	学校評議員会やPTAなどを通して、地域・社会の声を聴くことができたか。
	学校評価の改善	評価項目に沿った振り返りを行うことができたか。
	保健管理の取組	授業やHRで、生徒の健康観察や相談などのケアが実施できたか。
教育課程・学習指導	教育課程の充実	基礎学力の充実と専門性の基礎・基本の修得を目指した授業の計画・実施ができたか。
	授業の工夫・充実への取組	生徒の多様な進路実現を意識した授業改善に取り組むことができたか。
	地域に学ぶ学習への取組	実際の事象や実物を重視した授業等の取り組みを行うことができたか。
	読書への取組	朝読書を推進したり、授業等で本を紹介したりして生徒が本に触れ親しむ機会を増やしたか。
生徒指導	生徒が抱える指導上の問題点の掌握と事前指導	生徒個々の状況について把握するために、担任・教科担任・部活顧問など教員同士の連絡を密に行うことができたか。
	道徳教育の推進・いじめ防止の取組	授業やHR、特別活動の中で自他の人権や生命を尊重する態度を育むことができたか。
	現状の課題の掌握と対策	「高校生活のてびき」をもとに全職員・生徒・保護者が共通の基盤で生活を整えることができたか。
	交通事故の撲滅	交通事故防止に向けて、生徒・保護者に呼びかけができたか。
教育支援	生徒が学ぶ日常の状況把握	生徒の学習環境や日常の状況等について係を中心に共有しあい、必要に応じて生徒の支援会議等を持つことができたか。
	必要な知識・情報の提供	SC等外部機関とも連携する中で、特別支援教育に必要な知識・情報を教職員に提供することができたか。
特別活動	生徒会活動の充実	生徒の「共創」をスローガンとした諸活動を支援することができたか。
	クラブ活動の活性化	生徒同士が協働して日々の練習や活動に取り組むことができたか。
（キャリア教育） 進路指導	組織的なキャリア教育の体制づくり	基礎力診断テストや適性検査を実施し、それを活かした個人面談や指導を行うことができたか。
	体系的な進路実現への取組	1年次で進路への考え方を学び、2年次で具体的目標と方向を考え、3年次で社会へ出るためのスキルアップと進路実現をさせることができたか。
	勤労観・職業観の育成と地域社会、企業との連携	授業、HR、部活動などの日々の学校生活や就業体験・ワークリサーチのまとめを通して、自身が働くことや生き方について考えさせることができたか。